

わが町の輝ける星

日本音楽コンクール作曲部門 1位受賞

若手音楽家の登竜門として知られる、「第90回日本音楽コンクール」において、^{ふくまるこうじ}福丸光詩さん（東京音楽大学大学院：明治中出身）の作品「『土の器』Ⅱ Cor.4:7 室内楽のために（2021）」が、作曲部門で見事1位を受賞し、その報告に来庁されました。

今回の応募は「自分が作曲を続ける覚悟があるのか、今回評価が得られなかった場合は作曲を辞める覚悟で臨んだ。」と強い決意の中応募し、「全43作品の応募者には、すでに活躍する作曲家が多かったので、今でも本当か？と信じられないくらいびっくりしています。」と受賞についての心境を話してくれました。

受賞曲『土の器』は、聖書の「コリント人への手紙」から引用し、約3か月かけて作曲。演奏時間2秒の一節に丸3日をかけるなど「正直泣きそうになりながら書きました」と受賞曲への想いと、「演奏時間は約15分ですが、前半はすごく暴力的で攻撃的、中間は弱い人間をイメージし、後半は内側から光が溢れるような希望を感じられると思います。」と受賞曲について話してくれました。

クリスチャンの家庭で育ち、幼い頃から教会のオルガンなどを聞いていた福丸さん。本格的に音楽の道へ進むきっかけになったのが小学6年生に入部した、明治地域ブラスバンド部「明児」。現在もOBとして後輩たちの指導を続けており「子どもたちが楽しんでいる姿を見るのが嬉しい。指導する中で自分自身も学ぶこともあり、これからも続けていきたい。」と初心の気持ちを大切にしているようです。

今後については「特別な地位が欲しくて応募した訳ではなく勉強の過程で受賞できたもの。今までと同じモチベーションで勉強を続けたい。」と話してくれた、福丸さんの今後の活躍に期待しています。

なお、受賞曲は11月に、NHK FMにて東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる演奏で放送される予定です。



福丸さん

星野町長

わが町の輝ける星

鹿島学園、創部33年目で甲子園初出場

第103回全国高等学校野球選手権大会が兵庫県の阪神甲子園球場で行われ、^{おおつかだい}大塚大さん（明治中出身）が所属する鹿島学園（茨城県）が初出場を果たし、その報告に来庁されました。

鹿島学園は、大会4日目の8月16日盛岡大付（岩手県）と対戦、大塚さんは4番1塁手で出場し2塁打を放つなど活躍するも0-7で敗れました。

甲子園については「初出場のため、監督以外は誰も経験したことが無く、球場に入る前から足が動かないくらい緊張していたので、みんなで支え合っていこうと話していた。」初打席については「実際に打席に入ってみると、応援の音や球場にあるたくさんの看板がはっきり見えたので落ち着いていたと思う。予想通りのインコースの球に、力強く振り切れたのが良かった。」と2塁打を放った時の心境を話してくれました。「終盤に点差が開いてしまったが、最後まで全力で楽しんでプレーすることを心掛けました。」と充実感に溢れてました。

鹿島学園に進んだ経緯について「中学2年生の時に鈴木監督からオファーをいただいたのがきっかけです。素晴らしい監督と仲間に出会い、技術面はもちろん人間としても大きく成長できました。相手チームを称える謙虚な姿勢を学び、甲子園でも勝利チームを拍手で送り出すことが自然とできました。」とSNSなどで話題となったシーンについても話してくれました。

「小学生の頃から一緒に野球をしていた^{やなぎたせいた}柳田靖太さんと^{まえだ}前田真之介さんが横断幕を作ってくれて、応援してくれる幼馴染の存在がとても嬉しいです。」と感謝の気持ちも話してくれました。

今後については「まずは大学に進んで野球を続けたい。将来、社会人やプロ野球の舞台で野球ができるように頑張りたい。」と話してくれた、大塚さんの今後の活躍に期待しています。



横断幕



柳田さん

大塚さん

前田さん



かみたんメールの登録はこちら
t-kamitan-mail@sg-m.jp



人口と世帯【令和3年9月1日現在】(対前月比)

人口:31,244人(+35) 世帯数:12,311世帯(+20)
男性:16,022人(+10) 女性:15,222人(+25)

本紙は再生紙を利用しています。